



「緩和策」と「適応策」



気候変動に対しては、大きく分けて「緩和策」と「適応策」の2つの対策があります。
「緩和策」と「適応策」は車の両輪の関係であり、気候変動対策の推進には両方への取り組みが必須です。

温室効果ガスの増加

化石燃料使用による
二酸化炭素の排出など



気候変動

気温上昇（地球温暖化）
降雨パターンの変化
海面上昇など



気候変動の影響

生活、社会、経済
自然環境への影響

緩和

温室効果ガスの
排出を抑制する

適応

被害を防止・
軽減する

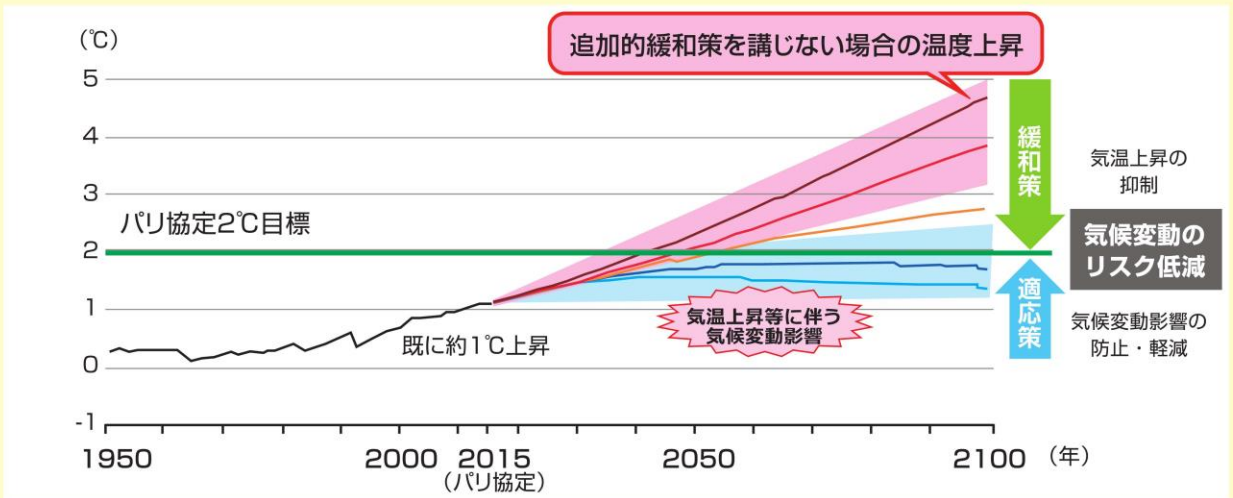
緩和策

再生可能エネルギーの導入や省エネルギー対策等によって
地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出を抑制

適応策

既起こりつつある影響、あるいは起こりうる影響に
対して、被害を防止・軽減

「緩和策」と「適応策」を車の両輪とした気候変動対策の推進



工業化以前(1850-1900年)を基準とした世界平均気温の変化予測

気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第6次評価報告書(AR6)
第2作業部会(WG2)報告書 Figure SPM.8を基に加筆

とちぎの気候変動 今と未来

(令和4年3月発行)



発行：栃木県気候変動適応センター（事務局：環境森林部気候変動対策課）
住所：宇都宮市埜田1-1-20
電話：028-623-3187
ホームページ：<https://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/tochi-tekiou.html>